

大学近況報告



入学式(同窓会からの祝花)
2016.4.5



学外研修(秋保 佐助)
2016.4.8-9



感謝の日
2016.6.25



朝食会(学食)
2016.4.6-8



医療福祉フォーラム
(江陽グラウンドホール)
2016.5.22



丘のうえ音楽会(学食)
2016.7.11

大学キャラクター 決定

平成21年3月 医療福祉学部保健福祉学科保健福祉専攻卒業
東北文化学園大学 庶務部庶務課勤務 **土谷 絵里子**

今回卒業生枠で応募させていただきました、7期卒業生の土谷です。たくさんの方に大学を知っていただけなきっかけになればと願いを込めたキャラクターです。でも、可愛がって頂ければ幸いです。



熊本地震募金活動

熊本地震災害支援に対し、児童サークル(代表:保健福祉学科3年阿部里美さん)による募金活動を実施され、同窓会理事さんでも、堀江会長をはじめ理事の方々に募金の協力をいただきました。

会長・副会長も募金しました

オープンキャンパス

今年度もオープンキャンパスが6月から始まりました。年間8回開催されます。学生のオープンキャンパススタッフも活躍です。
開催日 6/19(日)、7/10(日)、7/24(日)、8/7(日)、9/4(日)、10/22(土)、23(日) 3/19(日)



恩師から



元 総合政策学部教授
現 東北文化学園大学
特任教授

志賀野 桂一

らずに今に至っている。

それにしても現代社会、メールをはじめ、ソーシャルネットワークにお世話にならない仕事や生活は成立しないといえるまで情報化社会にどっぷりと浸かっている私たちである。またビジネス界でもマーケティング方法の変化が起こっており、総体としてマス・マーケティングの終焉と、パーソナルなマーケティングの到来を予測する証言が溢れている。TV番組の広告も、かつてはど有力でなく、公式HPも若い世代はと見ていない実態が報告されている。そうしたことからSNSがますます重視される傾向にあることは間違いないようである。しかし、そのツールの選択に関して興味深い差異があるという。つまり、マーケティングツールとしてみた場合、ソフッターは「連報性」、YouTubeは「業種重視」、Facebookが「関係の深さ」などに有効で、それぞれの特性を見極め使い方が必要であることが知られてきた。とくに35歳を境に情報の受信信に際して世代間ギャップがあり、その違いを読み込んだSNSプロモーションの必要性などが語られている。情報の受信信の多様化は相違ない。コミュニケーション論を教える私の立場からは、あの時、ゼミ生の勤めるがままに積極的LINEに入ったのは良かったのか、あるいは対人コミュニケーション重視で、なるべく電子媒体に頼らない方が良かったのか、いまだに揺れ動く今日この頃である。

注LINEはNAVERが提供する全世界で5500万人以上のユーザーが利用しているサービス。無料通話、トーク(メール)、スタンプなどの機能を持ち、日本でも若年層を中心にユーザー数が増えている。

SNS時代のコミュニケーション

ゼミ生を集めて初のミーティングのときである。私のゼミ運営のモットーとして、連絡係や渉外など役目を決めて学外研修に備えることにしていた。連絡係を決めようとしたその矢先、「先生ライン入ってますか?」と尋ねられた。ラインLINE とは、当時流行りだしたSNSで私は不覚にも知らなかった。「みんなラインに入っているの、ゼミの連絡も、先生がつぶやけばいいですよ。」という。また、ラインでのコミュニケーションで相手を選定しても、仲間全員でもできる便利なもののツールであるのだという。その場でアプリを入れようとしたが、パスワードが不明で不調に終わった。その後、成りすまし的事件などを聴くにつけて不安もあり、このSNSにはお世話にならずに今に至っている。

それにしても現代社会、メールをはじめ、ソーシャルネットワークにお世話にならない仕事や生活は成立しないといえるまで情報化社会にどっぷりと浸かっている私たちである。またビジネス界でもマーケティング方法の変化が起こっており、総体としてマス・マーケティングの終焉と、パーソナルなマーケティングの到来を予測する証言が溢れている。TV番組の広告も、かつてはど有力でなく、公式HPも若い世代はと見ていない実態が報告されている。そうしたことからSNSがますます重視される傾向にあることは間違いないようである。しかし、そのツールの選択に関して興味深い差異があるという。つまり、マーケティングツールとしてみた場合、ソフッターは「連報性」、YouTubeは「業種重視」、Facebookが「関係の深さ」などに有効で、それぞれの特性を見極め使い方が必要であることが知られてきた。とくに35歳を境に情報の受信信に際して世代間ギャップがあり、その違いを読み込んだSNSプロモーションの必要性などが語られている。情報の受信信の多様化は相違ない。コミュニケーション論を教える私の立場からは、あの時、ゼミ生の勤めるがままに積極的LINEに入ったのは良かったのか、あるいは対人コミュニケーション重視で、なるべく電子媒体に頼らない方が良かったのか、いまだに揺れ動く今日この頃である。

注LINEはNAVERが提供する全世界で5500万人以上のユーザーが利用しているサービス。無料通話、トーク(メール)、スタンプなどの機能を持ち、日本でも若年層を中心にユーザー数が増えている。

サークル

「Working Dog's」

総合政策学部 総合政策学科3年 **桑折 剣**

私たちのサークルは、「Working Dog's」と言います。「Working Dog's」とは、働く犬のことです。例えば警察犬や盲導犬、介助犬、聴導犬、災害救助犬、モンキードッグなどです。私たちのサークルでは、災害救助犬とモンキードッグに焦点を当てて活動しています。災害救助犬とは、災害発生時に瓦礫に埋もれた人や、山野で方向不明になった人などを浮遊泉で探し、救助を手助けする犬のことです。モンキードッグとは、山から下りてきて田畑などの作物を荒らすサルを吠えて追いかけて、奥山へ追い戻す犬のことです。

文化祭などでデモンストレーションを行って災害救助犬の活動を紹介したり、ボランティアで認定審査会ヘルパーとして参加するなど、働く犬の認知度を高め、育成していくことを目標に活動しています。



輝人



輝人

貴重な経験ができることに感謝

医療福祉学部 リハビリテーション学科
作業療法専攻 平成20年3月卒業
二木 理恵



作業療法士9年目、中堅職員として様々な仕事を任されるようになり、職場である老健施設の仕事だけではなく、全国区の仕事に携わることも増えてきました。

職能団体である日本作業療法士協会や、私の勤める事業所の団体である全国デイ・ケア協会等、全国で活躍されている先生方と仕事をさせて頂き、リハビリテーションや介護保険の最前線の取り組みを知ることができ、とても刺激となっています。同時に良い意味でのストレスになり、自分の職場でもより頑張ろうという気持ちになります。また研修会等で講師として教える側に立つことも増え、人に伝える難しさや面白さを感じています。

このような貴重な経験ができるのは、職場の上司や先輩方が機会を与えてくださっているからと日々感謝です。今度は自分自身が全国の最前線に立ち、先駆的な取り組みをしていく存在になれるよう、より一層頑張りたいと思います。

輝人

指導する立場となり考えること

医療福祉学部 リハビリテーション学科
視覚機能専攻 平成28年3月卒業
鈴木 静奈美



本学の医療福祉学部を卒業し、視能訓練士として東京の大学病院へと就職しました。最初は分からないことばかりでひとつひとつの動作に時間がかかり、患者様に負担をかけてしまうことが多くありました。その度、自分の力不足を実感し、この仕事は向いていないのではないかと感じていましたが、先輩方から丁寧な指導をいただき少しずつ仕事にも慣れてきました。1年半が経った今、指導者として実習生の指導にも携わることができています。

人へ教えるということは教わることも難しく、どのようにしたら内容を理解し、出来るようになってもらえるのかということが私の課題です。それには自分が正しい知識を持っているということが前提であるため、就職した今でも日々勉強の毎日です。

まだまだ課題は多く、指導を通して自分自身も学ぶことがたくさんあります。学生の皆様には向上心を忘れず、学ぶということに貪欲であって欲しいです。

輝人

仕事×音楽を全力で

医療福祉学部リハビリテーション学科
理学療法専攻 平成25年3月卒業
相沢 亮太



僕は今、介護老人福祉施設で理学療法士をしながら「UNO」という3人組の音楽ユニットに所属し、音楽活動に励んでいます。大学時代、友人と一緒にオリジナルの曲を作った時、感動と楽しさを覚えたことがきっかけで音楽を始めました。気付けば勉強と両立しながら、精力的に活動していました。

卒業後の進路に悩んでいる時、恩師からの「二足の草鞋を履ける人は、両方とも中途半端にできないという想いの強い人。君になら出来るよ。」という一言が胸に刺りました。僕はその日から、仕事と音楽を全力で打ち込み決心がつきました。

その甲斐もあり、今ではラジオ番組を持たせてもらったり、県外遠征や主催イベントなど、沢山の人の前で歌わせていただく機会が多くなりました。これから理学療法士として、歌い手として、皆さんの「背中を押せる」そんな人になるように精進していきたいと思っています。

輝人

仲間がいること

医療福祉学部 リハビリテーション学科
言語聴覚専攻 平成27年3月卒業
佐藤 清華



私は仙台市の病院に言語聴覚士として勤めています。まだ入職して半年も経っておらず、慣れない事や分からない事もたくさんあります。仕事をしながら「本当にこれでいいのかな?」「患者さんのためになっているのだろうか?」「この仕事は私に向いているのだろうか?」など、悩みや不安は考えても底を尽きません。そんな中でも私が頑張っていけるのは、言語聴覚士を目指して共に頑張った仲間や職場で出会った同期がいるからです。いざ話してみると、同じようなことで悩んでいた共感できることが多く、「みんな同じなんだな」と感じます。同期と仕事終わりにご飯に行ったり、離れた場所にいる友人と連絡を取り合い、元気をもらっています。1人じゃないと思うことで今の私は頑張ることが出来ます。これから先、まだまだ辛いことや壁にぶつかるところもあると思いますが、仲間がいることを忘れずに頑張っていきたいです。

輝人

14年間の大学生活

科学技術学部 環境計画工学科 平成17年3月卒業
一條 佑介
25期 日本臨床環境医学会常務委員(副総)



科学技術学部 建築環境学科 講師
東北文化学園大学同窓会 理事

私は、大学卒業後に本学大学院に進学し、野崎先生のご指導の下、数年間にわたって空気清浄技術や環境技術の研究をさせて頂き、博士(生活環境情報)を取得させて頂きました。また、大学院在学中に住環境デザイン学科(現:建築環境学科)の教員として着任し、教育・研究活動等に忙しく充実した毎日を送っていました。

また、ゼミ活動でも厳しい中たくさん楽しい思い出ができました。14年の在籍ですでの、数十名のOB、OGがおり、研究発表や合宿において、北は北海道、南は沖縄県に出かけたこと等、たくさんの写真や映像をたまに見ながら懐かし思い出しています。

さらに、手前味噌で恐縮ですが、この度「第25回日本臨床環境医学学会学術集会」にて、私の論文に対して研究奨励賞を授与することができました。関係する先生方に深甚なる感謝の意を表します。本受賞を励みに、今後もより一層、教育・研究活動に邁進していきます。

輝人

「時間」という財産

医療福祉学部 保健福祉学科 保健福祉専攻 平成20年3月卒業
安藤 康介
セントラルスポーツ株式会社
セントラルフィットネスクラブ仙台店 副店長



社会福祉士を目指していた私が、学生時代に初めてしたアルバイトが就職先になるのは想像しておみえませんでした。私がセントラルスポーツという会社に入社して8年が経過し、福島・札幌・仙台と計4店舗と渡り、現在、私は副店長という立場で運動指導の他に、クラブ運営・施設管理・プログラム管理・人材管理・北日本地区を統括するプロジェクトリーダーと多岐に渡って業務をしております。その職種もそうですが、この仕事は特に「人とのつながり」を強く感じることができ、かつ出逢った方の人生をも変えるきっかけを与える仕事であると感じています。

昨年は、当社ホテルマラソンツアーの運営スタッフとして選抜され、全国のセントラルスポーツメンバーと共に、「感動プロジェクト」として現地で業務を遂行し、多くのお客様の感動をサポートさせて頂きました。

今後の目標は店舗責任者(店長)となり、今以上にお客様は勿論、一緒に働くスタッフにも「楽しい」時間を過ごして頂けるフィットネスクラブを運営していく事です。すべての人に平等に与えられているものは「時間」です。その大切な「時間」という財産を私は「ファットネス」という分野で人々を楽しませ、幸せな人生を送るきっかけのサポートをしています。